

小須戸公民館報

町館信 戸常日
須公 15
小中 成月
発行 毎 毎
印刷 所 所

子供と読書

公民館の図書活動

幼い子にとって本を見たり読んだりすることは、遊びの一部だと言われています。読書には生活に必要なことから読みとるだけでなく、生活を豊かにする幅の広い楽しみのあることを子供の時に知ってほしいものです。

では私たちに、子供に自主的に本を読んでもらうにはどんな役割を担わなければならないのでしょうか。

まず最初に知ってもらいたいことは、読ませたいと思うのは大人であり、実際に読むのはあくまでも子供なのだということです。どうしても私達は大人目線で子供を見てしまい、押しつけてしまふ恐れもあります。子供が要求している本(マンガではなく)を与え、なおかつ黙って見守ってあげるのが私達の務めなのではないでしょうか。

また私達が本を与える時には、子供に對してはつきりとした読ませる目的をもつていなければなりません。教養を身につけるのはもちろんのこと、想像力、集中力などを養うにも読書は最適です。本を読む習慣は小学校三年生位までが身につくやうにと言われます。

◆小須戸中央公民館図書貸し出し状況

まず小学生の昭和五十九年度貸し出し冊数を見てみると、全体で一万百一冊貸し出しています。内訳は男子四千二百五十五冊、女子五千八百六十一冊、わずかながら女子の方が多く、これを小須戸町全体の児童数八百九十人で割ると一人年間十一冊を読んでいる計算になります。しかし次の表を見ていただければおわかりのとおり、公民館図書を利用しているのは、公民館周辺の子供達が圧倒的に多いことがわかります。

子供が本を読む習慣には個人差はあると思いますが、子供のおかれていた環境にも影響があり、少なくとも山の手地区の子

小学生公民館図書登録員数表

学校名	児童数(人)	登録員数(人)	地区名	登録員数(人)
小須戸小学校	609	515	ワテコキ	45
			町部	350
			文京町・横川浜	64
			小向・水田	15
			新保・竜玄	41
矢代田小学校	281	18	鎌倉・天ヶ沢	4
			矢代田第1-第5	8
			矢代田第6-第13	6
計	890	533		533

小須戸公民館報題字の紹介

このたび新しく改訂した公民館報の題字は、鎌倉の佐藤江山先生より書いて戴きました。本名を佐藤富一といひ、書壇院評議員であり現在書道界において活躍されておられる方です。



題——山採取りのおばさん
感想 東京の社友と山古志へ撮影に行った時、素直に撮影に応じてもらったものです。

◆今月より三回に渡って県展入選作品をご紹介いたします。

新保3
吉井久好

第四十回県展入選おめでとうございます。

小須戸町より次の方が県展に入選しました。おめでとうございました。

〔写真部門〕 新保三 吉井久好
本町四 齊藤登市
〔書道の部〕 若葉町三 菊地 閑月(伸一)

16ミリ映写機操作認定講習会のご案内

左記要項により、16ミリ映写機の操作技術の認定講習会を行いますので、ご希望の方は中央公民館へお申し込み下さい。講習会終了後認定証が交付されます。各種団体等この機会にぜひ受講して下さい。

〔要 項〕
日時 七月十七日(水)より十八日(木)の二日間
午前九時より午後四時
会場 中央公民館
受講資料代 五〇〇円
その他 筆記用具、中食、印鑑をご用意下さい。
申し込み 中央公民館へ七月十日(水)までに申し込み下さい。

※詳細・お問い合わせ等は中央公民館内事務局へどうぞ。



公民館のクラブ紹介(8)

良き友達との出会いの場

私たちのクラブを紹介せよとのことで、一筆取らせて頂きました。当クラブが現在の姿に組織されてきたから、早いもので十周年を迎えることになりました。当クラブのメンバーは、二対一の割合で女性会員が多くなっていますが、終始なごやかな雰囲気包まれ、基本ステップからいろいろなステップ(モダン・ラテンダンス等九種目)に汗して取り組んでおります。又、当クラブ主催による、初心者ダンス教室では一般対象で公募したところ、昨年よりわずかながら二十名位の受講でした。参加者にはとにかく初めてステップ

◆華麗なる探偵たち 大江健次郎
◆いかに木を殺すか 赤川 次郎
◆一休さんの門 川口松太郎
◆風の王国 五木 寛之
◆八十八夜物語 半村 良
◆青桐 木崎さと子
◆週末の恋ウイークエンドラブ 落合 恵子
◆親子女庫を開設・中央公民館の図書活動 池波正太郎
今年度の中央公民館図書室としては、子供達にたくさんの本を読んでもらおうと考えて、その

◆乳房 藤原 てい
◆生きる 早川 一光
◆ぼけの先生のえらいこっちゃ 早川 一光

◆胎児からのメッセージ 高橋 悦二
◆粗食でなく素食を 中川みよ子
◆あたらしいSF童話 外一冊
◆ころからだいのちのえほし 岩崎書店
◆なぞの古代生物 国士社
◆子どものための動物物語 国士社
◆少年SFミステリー 国士社
◆子どもの天文教室 外一〇三冊

◆大人の集い ○講演会
○老人ホーム慰問等

図書日より 新刊案内

の機会と環境作りにより、具体的に次のことを推進いたします。

五月より横水保育園で、又六月からは小須戸幼稚園でそれぞれ「親子文庫」を開設しました。子供が親と一緒に選んだ本を自宅で一語に読み、親子そろって読書をする時間をもつ事が目的です。また矢代田小学校では、

同じく六月より公民館図書室の本専用のフロアを設け、移動図書館として開設しました。まだまだ不十分で、手の行き届かない出張文庫ですが、読書が生活の一部になるよう今後一層努力していく計画であります。皆さんの御援助御協力をお願いいたします。

連合婦人会 六十年 役員決まる

六月一日に行われた連合婦人会の総会において次のように役員体制が決まりました。

- 役職氏名 単位婦人会
- 会長 板井悦 小須戸
 - 副会長 高山 広美 新保
 - 吉田 マチ 水田
 - 竹内トミ子 小須戸
 - 藤井ハルイ ウテコキ
 - 武田 富 小向
 - 中野 房子 横川
 - 田中イヅ子 ウテコキ
 - 井上ハツエ 小向
 - 吉田 光子 横川
 - 木村 才 水田
 - 川瀬 サチ 新保
 - 穴沢 イミ ウテコキ
 - 加藤 キイ 小須戸



横水分館婦人学級 61名で開級

去る六月八日夜、七時半より「横水分館婦人学級開級式」が出席者四十二名の中で盛大に行われ、まずはじめに木村分館長の挨拶の中で「今年と人の心の触れ合いの中で、

度から発足した大きな婦人学級を、これから地域、小須戸町の為にも大きく育てて欲しい」との言葉を述べ、森田社会体育指導員より軽い体操の指導を受けた。みんな真心に返った様にとっても楽しく、また汗だくになるまで頑張りました。この婦人学級が今後発展するよう期待いたします。

●学習プログラム
七月 古代を探る
十月 ペーパーフラワー
十一月 楽しい歌の集い
十二月 お正月料理
三月 閉級式

●学級役員
学級委員長 中野 房子
学級副委員長 広川 マスエ
武田 富
吉田 マチ



写真は社会体育指導員の森田さんによる体操の一場面

もの案内

軟式テニス 初心者講習会

今年度も次により初心者を対象としたテニスの講習会を行いますのでこの機会に参加してみませんか。

日時 六月二十三日から毎週
日曜日 午前九時三十分

運動者講習会 開催のご案内

次により運動者講習会を開催いたしますので案内いたします。

愛のチャリティショー

日時 七月十四日(日)
午後一時開演
会場 中央公民館
主催 愛のチャリティ実行委員会

分館だより

矢代田分館 役員決まる

分館長 本多 縦
副分館長 新井田秋蔵
本多新一郎
渡辺 八郎
伊藤 敏
主事・会計 篠山 正輝
去る五月三十一日午後七時三十分より矢代田小学校で総会が開催され、新年度予算、各部の事業計画、分館役員並びに各部の正副部長を審議し決定しました。

●運動会 ○文化祭 ○講演会
○野球大会 ○ゲートボール大会

横水分館

水田老人クラブ

お話しを聞く会
期日 六月十九日(水)
時間 午後一時三十分より
会場 水田集落センター
おはなしの内容
「現代の子の心と病理」
講師 五十嵐 俊英先生
(小須戸中学校長)

小須戸中 出身選手

県高校総体で健闘

◎軟式陸球
○一、二位を独占女子個人戦
優勝 内山・大日方組 白根高
準優勝 木村・武田組 白根高
○優勝女子団体戦決勝戦
白根高2-0新潟中央高
武田千佳子組2-0 広川組
木村美代子 竹田
内山 朱美 組2-0 田中組
大日方みか子 荒川組
○男子団体
ベスト8へ進出
玉村 嘉明
加藤美樹男
関根 広樹
(新津南高)

女声コーラスと水墨画がクラブとして新発足

中央公民館主催で運営してきました女声コーラス教室と水墨画教室は、今年度より公民館の手を離れて自主的な運営によるクラブへと新発足しました。次のクラブを紹介いたします。

●女声コーラス
コールあじさい(小須戸)
会長 村山 睦
活動日 毎週水曜日
会 長 村山 睦
会 員 十二名
講師 森 一義先生

●水墨画
クラブ名 水墨画クラブ
活動日 第二・第四土曜日
午後一時三十分より
会 場 中央公民館
会 員 十二名
講師 森 一義先生

警察官(大学卒)の募集について

新潟県警察本部では昭和六十年年度警察官(大学卒)を次に募集いたします。

○受験資格
昭和三十三年四月二日から昭和三十九年四月一日までに生まれた男子で学校教育法による大学(短期大学を除く)を卒業した者、または昭和六十一年までに卒業する見込みの者

○受付期間
六月一日(土)～七月二十五日(木)

寄贈御礼

中央公民館へ次の冊子を寄贈いただきました。ありがとうございます。

○昭和五十九年度研究集録
小須戸町教育振興会
○生涯学習に関する意識調査
五泉市教育委員会

春の新潟小須戸会 郷人会総会 開かる

六月九日(日)午後一時よりニュー安兵衛五階ホールにおいて春の総会がありました。本町より町長、中央公民館長が出席し、町の情勢と文化・スポーツ産業活動の状況を説明、その後郷土の思い出を語り合っていました。会長は米田東吾さん、事務局は加藤国一郎さん、榮森金次郎さんに決定しました。

中学生文芸 俳句クラブ作品

5/6 加茂山吟行・作品

池の中 片隅による 菖蒲の葉
雨の日の 青葉若葉の くつきりと
したしたと 雨が降っては 葉を揺らす
加茂山に 新緑あつて きれいだね
水の中 もう一本の 若葉の木
池の中 菖蒲に 霧深し
加茂山も 奥深く行けば 霧深し
雨降れば 青葉も濡れて ひっそりと
初夏の雨 青葉の緑を ひきたてる
新緑の 雨にうたれて 鮮やかに
加茂山の 吟行会に 初夏の雨
境内に 花びら散らす 雪椿

良遊 美根子 秀穂 越後 虚秋 久子 富沙子 松山 加津明 露春 香月 松男 木浪 野蒜 素糸 伊藤 照漢

五月句会報 小須戸町俳句同好会

船溜めて 岩船漁港 花曇り
ゴム風船 ゆらゆら花の 下ぐる
見覚えの 女傘あり 花の雨
物売りの 廻り道して 桃の花
春風や 艶が出たり かくれたり
児の脚の 少女めきたり 花杏
眼鏡を 拭いたしむ 花曇
敵打つや 間近かに 啄ばむ 親雀
花曇り 守衛一人が 椅子ふかく
花曇り 真昼の木魚 ぼこぼこと
対岸の ビニール畑や 風光る
花くもり 妻退院の そろそろ足
張りかけし 糸にきらきら 蜘蛛下がる
梨の花 トクリに活けて 満ちにけり
対岸の 村の親しき 桜かな
砂盛りに 飽きし園児が 蝶を追う

短歌

舗装路に 抜け出る 葎の 茎太く
うすくれなるに 朝の陽に照る
手せまる 花壇なれども 子どもの
時きしひまわり いっせいに前ゆ

我妻 清作
伊藤 照漢